

Newシルキーパレット
マイルドプラスターランダム仕上げ
[不燃仕様]
施工の手引き

平成20年8月作成

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー技術部
建設樹脂グループ

目次

NEWシルキーパレット20シリーズ

使用材料 3ページ

施工方法 4ページ

NEWシルキーパレット25シリーズ

使用材料 5ページ

施工方法 6ページ

NEWシルキーパレット55シリーズ

使用材料 7ページ

施工方法 8ページ

共通)

適用下地 9ページ

主な施工道具 9ページ

施工のポイント 9 ~ 12ページ

施工の注意事項 12ページ

不燃仕様の対象パターンについて 12ページ

NEWシルキーパレット20シリーズ

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
下塗り	Newシルキーパレット JM - 20シリーズ 標準色 JM - 20T (...1000 ~ 2999) 特注色 JM - 20T (...3000 ~ 6999) 又は JM - 20 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg [°] -缶	約3.4m ² /缶
上塗り	Newシルキーパレット JQ - 20シリーズ 標準色 JQ - 20T (...1000 ~ 2999) 特注色 JQ - 20T (...3000 ~ 6999) 又は JQ - 20 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg [°] -缶	約1.8m ² /缶

NEWシルキーパレット20シリーズ

<マイルドプラスタ-ランダム仕上げ施工方法>

1. 下塗り

配 合	JM - 20シリーズ	20kg
	清 水	約0.5%
塗布量	約0.6kg/m ²	
施工方法	金ゴテにて平滑に塗布する。	

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2. 上塗り 配り塗り

配 合	JQ - 20シリーズ	20kg
塗布量	約1.1kg/m ²	
施工道具	金ゴテ 金ゴテにて、材料を均一に配る	

追いかけ(5分以内)

3. パターン付け

<ul style="list-style-type: none">・配り塗りしたJQ - 20が乾燥しないうちに、金ゴテのエッジ部分に軽く力を入れ、コテを少し壁面から浮かすような感覚でJQ - 20を扇状塗りのぼしてパターン付けを行う。(図 - 1)・扇状の模様が規則正しくそろわないよう気を付ける。(図 - 2、3)

NEWシルキーパレット25シリーズ

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
下塗り	Newシルキーパレット JM - 25シリーズ 標準色 JM - 25 T (...1000 ~ 2999) 特注色 JM - 25 T (...3000 ~ 6999) 又は JM - 25 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^ℓ -缶	約3.4m ² / 缶
上塗り	Newシルキーパレット JQ - 25シリーズ 標準色 JQ - 25 T (...1000 ~ 2999) 特注色 JQ - 25 T (...3000 ~ 6999) 又は JQ - 25 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^ℓ -缶	約1.8m ² / 缶

NEWシルキーパレット25シリーズ

<マイルドプラスター仕上げ施工方法>

1. 下塗り

配 合	JM - 25シリーズ	20kg
	清 水	約0.5%
塗 布 量	0.6kg/m ²	
施工方法	金ゴテにて平滑に塗布する。	

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2. 上塗り パターン付け

配 合	JQ - 25シリーズ	20kg
	清 水	0 ~ 0.5%
塗 布 量	約1.1kg/m ²	
施工道具	金ゴテ 金ゴテのエッジ部分に力を入れ、下から上へゴテを動かし、パターン付けする。 (図 - 2) パターン付けは、ランダムに行う。 (図 - 3)	

NEWシルキーパレット55シリーズ

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
下 塗 材	Newシルキーパレット JM - 55シリーズ 標準色 JM - 55 T (...1000 ~ 2999) 特注色 JM - 55 T (...3000 ~ 6999) 又は JM - 55 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^ℓ -缶	主材 約3.3m ² /缶
上 塗 材	Newシルキーパレット JQ - 55シリーズ 標準色 JQ - 55 T (...1000 ~ 2999) 特注色 JQ - 55 T (...3000 ~ 6999) 又は JQ - 55 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^ℓ -缶	主材 約1.4m ² /缶

NEWシルキーパレット55シリーズ

<マイルドプラスタ-施工方法>

1. 下塗り

配 合	JM - 55シリーズ	20kg
	清 水	約0.5%
塗 布 量	0.6kg/m ²	
施工方法	ステンレスゴテにて平滑に塗布する。	

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2. 上塗り 配り塗り

配 合	JQ - 55シリーズ	20kg
塗 布 量	約1.4kg/m ²	
施工道具	ステンレスゴテ ステンレスゴテで材料を均一に配る。	

追いかけ(5分以内)

3. パターン付け

- ・配り塗りしたJQ - 55が乾燥しないうちに、ステンレスゴテのエッジ部分に軽く力を入れ、コテを少し壁面から浮かすような感覚でJQ - 55を扇状塗りのばしてパターン付けを行う。(図 - 1)
- ・扇状の模様が規則正しくそろわないよう気を付ける。(図 - 2、3)

<適用下地>

・石膏ボード

- ・ 不燃仕様は下地が不燃の場合に不燃、下地が準不燃の場合に準不燃となり、その他の下地では防火認定にはなりません。

<主な施工道具>

- ・ ステンレスゴテ（剣先ゴテ）

<施工のポイント>

- ・ 壁面に対しコテの片側を少し浮かすようにして、コテを滑らせパターンを付けます。

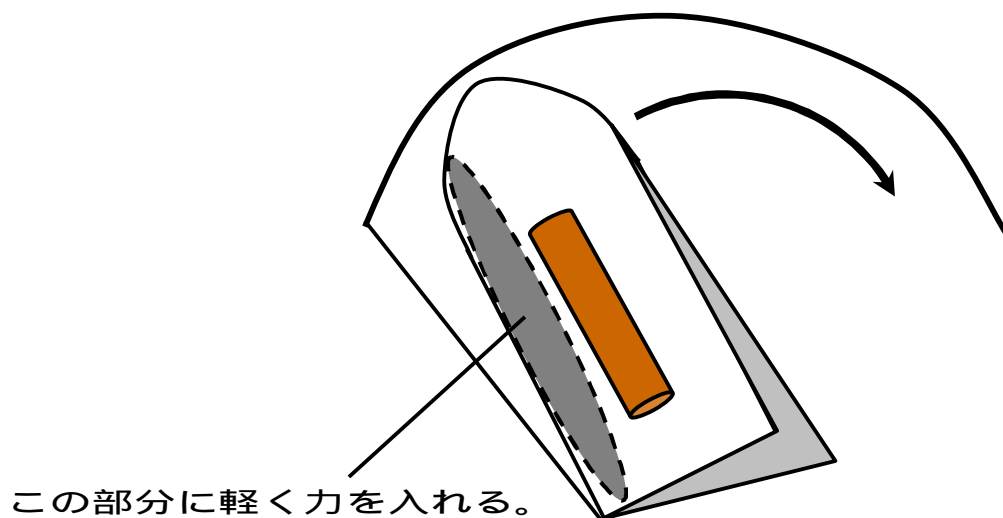


図 - 1

- ・ 扇状の様子が規則正しくならないよう(図 - 3) パターン付け始めのコテの角度を変える。

下図のような順番でパターンを付けます

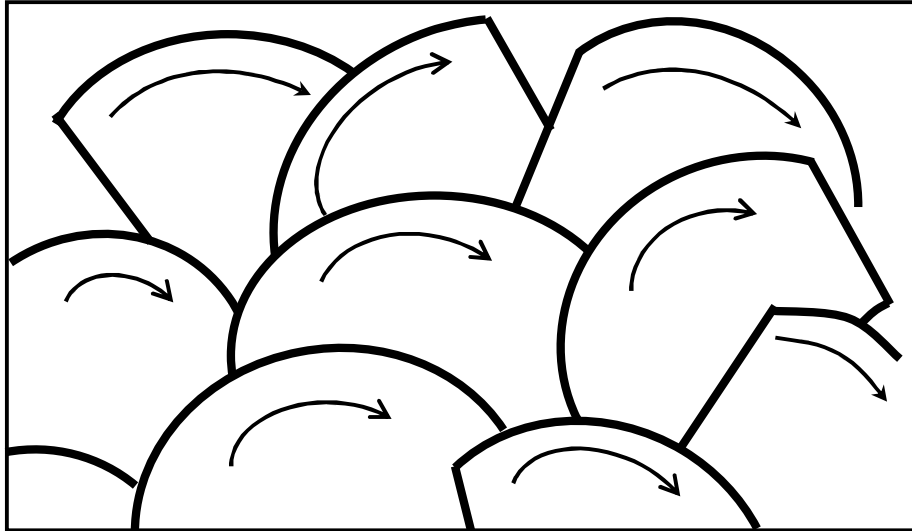


図 - 2

半径 10 cm ぐらいの扇を描くように
ランダムにパターンを付けます。

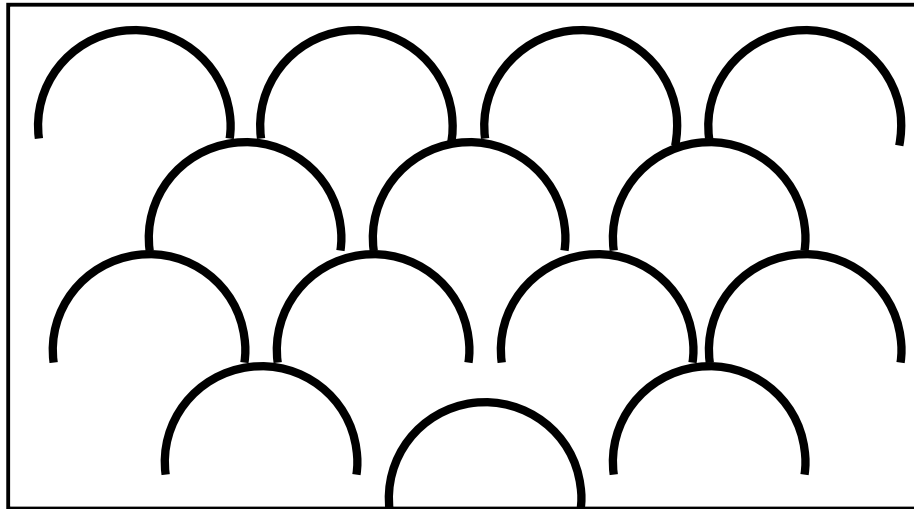
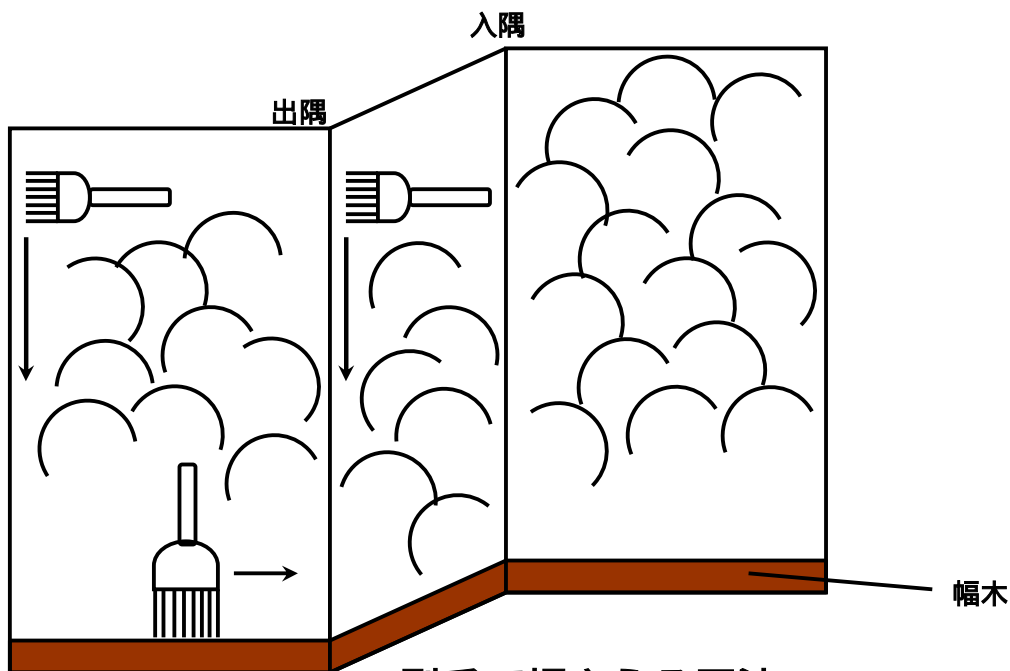


図 - 3

入隅、出隅の処理方法

- ・ 入隅は塗布量が多くならないようにする。
- ・ パターン付けの際、入隅や出隅、幅木のちりは、一度水に浸した後、水を良く切った刷毛で、上塗材が乾燥する前に押さえる。(図 4)

入隅において、塗布量が多くなったり、水を付けすぎた刷毛で押えた場合、クラックが発生しやすくなるので、注意してください。



刷毛で押さえる工法

図 4

< 施工の注意事項 >

- ・ 塗布量が少ないと透ける場合があります。十分注意して施工して下さい。
- ・ コテの大きさや形状によってパターンは多少異なります。
- ・ 何度もパターンの手直しをすると、塗材が乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ 天候、風等の条件によっては、極端なパターンの段差部分にヘアクラックが発生する場合があります。あまり、極端なパターンの段差をつけないよう注意して下さい。(図 - 5)

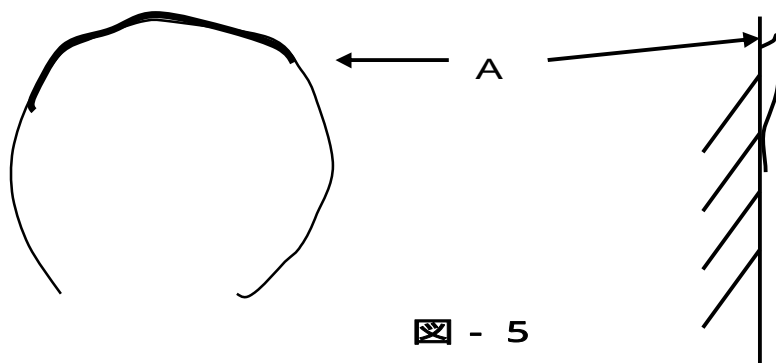


図 - 5

< 不燃仕様の対象パターンについて >

不燃仕様の対象パターンには、マイルドプラスター、マイルドプラスター、マイルドプラスタランダム、シンフィニー、ウォーターフォール、細流、ニュアージュ、乱流、乱流2色、ゆず肌があります。

以 上